

授業特別協力者(ゲストスピーカー)報告書

テーマ : 現役コンサルタントが語る企業での MOT
授業特別協力者名 : 塚松 一也氏
実施日時 : 2022 年 1 月 17 日(月) 4 時限
担当教員名 : 斎藤 正武
授業科目名 : 技術経営論
履修者数 : 388 名

実施結果

講演会は、日本能率協会コンサルティング R&D 組織革新・KI 推進センターの塚松一也（つかまつかずや）に講演を依頼した。タイトルは、「現役コンサルタントが語る企業での MOT」で、学生も今期、技術経営を受講したまとめとして、非常にわかりやすい講演会となった。企業の中での技術経営の実態、イノベーションの発案と具現化プロセスを中心にその課題と対処を講演された。

具体的には、1) 技術をお金に換えるとは、何を考え何を行うことか（イノベーションとインベンションとの違い）、2) イノベティブな発想、着想、発案の仕方、3) イノベーションテーマの推進上の悩ましさと乗り越え方、というテーマに沿って、100 ページ弱ものスライドを使い丁寧に話をいただいた。

同氏は通常企業人に講演を行っているが、今回は、学生に身近な例、トクホのお茶や、iphone はイノベーションなのか、インベンションなのか？と、学生目線に合わせて話をしてくれたことが印象的だった。授業での定義やテキストベースのありきたりの事例ではなく、リアリティのある話が聞け、学生にとって大変刺激的な講演会であった。

参加者は、約 90%の 300 名強だった。WebexMeeting のオンラインで行われたが、ネットワークなどのトラブルもなく実施することが出来た。



塚松氏によるオンラインでの講演風景